

短節間で省力化！ 果肉色良くカット売りにも最高

食味の良い
中早生品種

プリメラ 117



品種特性

1. 果実は1.8kg以上の大玉。特に玉の揃いが良く濃緑色でやや腰高。
2. 交配後40～45日で収穫できる中早生種で、肉質は粉粘質で食味抜群。
3. 葉柄が強いため葉折れや倒伏が少なく強風にも耐える。
4. 雌花は株元から発生し、初期は短節間性を有するため省力栽培が可能。
5. 適作型は広く、ハウス・トンネル・露地栽培または 抑制栽培にも適する。

| | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 |
|-----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|
| 寒冷地 | | | | | ● | × | | | ■ | | | | | |
| 一般地 | | | ● | × | ● | × | | ■ | ● | × | ■ | ■ | ■ | |
| 暖地 | ● | × | ● | × | ■ | ■ | ■ | ■ | ● | × | ■ | ■ | ■ | ■ |

● 施設栽培
○ 露地栽培



プリメラ117の特徴

- ①短節間で省力！
- ②肥大性よく安定して多収
- ③とってすぐ甘くておいしい。果皮色も濃く外観も優れる

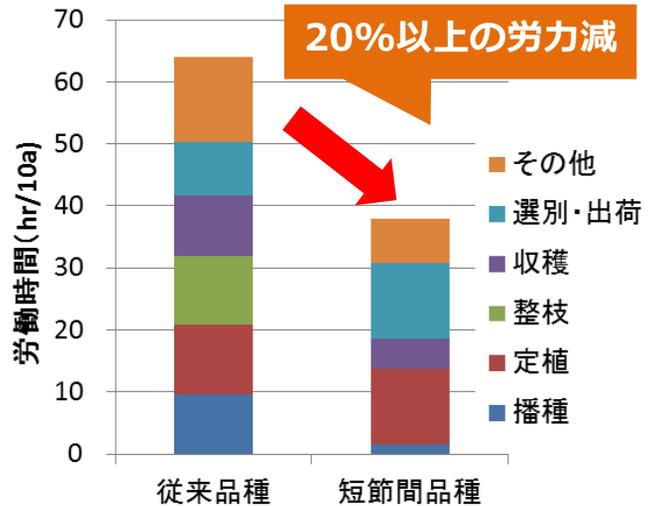


[試験データ]

①短節間性カボチャの省力性

短節間性カボチャは、

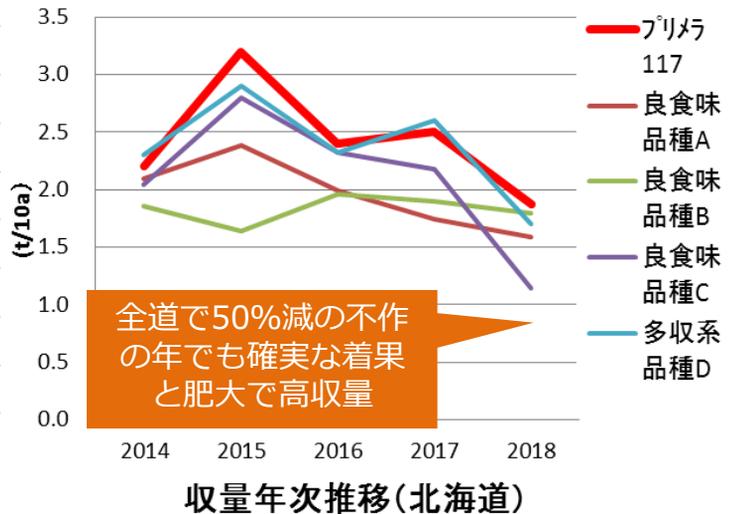
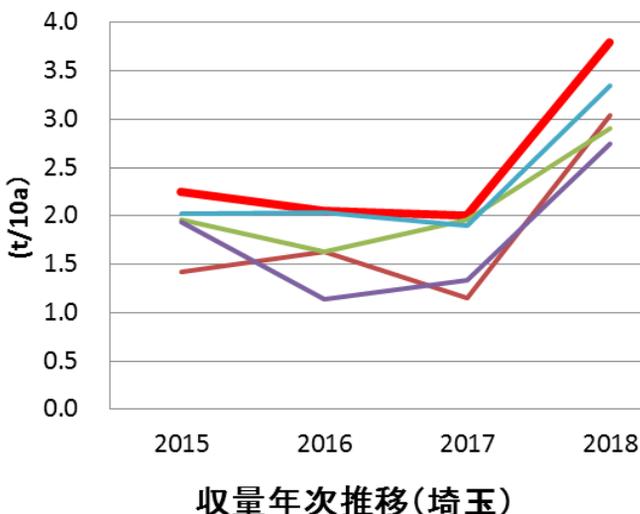
- 整枝回数を少なくできる
(側枝の発生がゆっくりであるため、まとめて整枝できる)
 - 収穫にかかる時間が少ない
(果実の着果位置がそろうため、カボチャを探す手間が省ける)
- などの特徴から、
省力的な栽培が可能



図：従来品種と短節間品種の作業時間の比較

「技術普及事例 新タイプかぼちゃの省力的多収栽培技術の確立」(北農 82(1), 108-115, 2015-01 より抜粋、一部改)

②安定して多収



プリメラ117の作り方（促成栽培）

■施肥と圃場

- ・肥料は窒素で8-10kg/10aを目安（一般地・標準的な畑）
- ・1本整枝とし、栽植密度 700~800株/10aとする



セルトレー育苗

■播種～定植

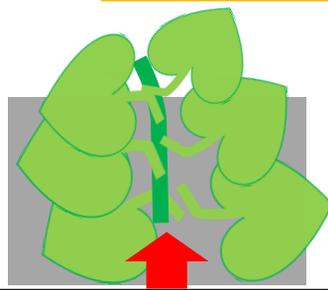
- ・セルトレー育苗で省スペース・省力
- ・つる伸びするまでトンネルの開放作業を待てる

■整枝作業

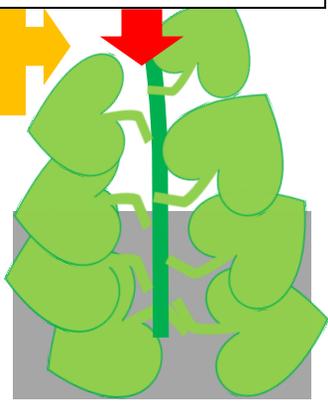
- ・1回目：つる先がマルチから出た頃に株元から入ってまず1回整枝
- ・2回目：つるがマルチから20-30cm出た頃につる先側から入って整枝
- ・整枝作業と同時に株元の雌花も摘花

つる先側から2回目整枝

着果位置
この辺りから



株元側から1回目整枝



■着果

- ・株元50cmから着果（整枝作業した位置あたり）
- ・着果後は放任で整枝作業省略できる

■着果後管理

- ・整枝、摘芯はせずに放任
- ・樹勢が強すぎる場合には状態を見て整枝・摘芯する
- ・樹勢がおとなしい場合は追肥・葉面散布（1-2kgN/10a程度）



■収穫

- ・着果位置が揃うため、果実を見つけやすい

■その他、プリメラ117の特性

- ・着果まではゆっくりだが着果後の肥大が早く、一般品種と同時期に収穫できる
- ・収穫後の糖度の上がりが早く、早出しでおいしい

[栽培事例]（茨城県、2017年促成栽培）

【収量結果】

2.7 t/10a（推定） 対照品種 1.9t/10a（推定）

【耕種概要】

施肥：レオグリーン特号100kg/10a、Iロット055 60kg/10a
 栽植密度：畝間 3.2m × 株間45cm、播種 3月23日、
 定植4月8日、収穫7月11日、交配日5月26日～6月1日（マルチ外4-5節）

表：収穫果実重量割合

| サイズ | プリメラ117 割合(%) | 対照品種 割合(%) |
|------|------------------|---------------|
| 3玉以上 | 9.2 | 0 |
| 4玉 | 18.5 | 20 |
| 5玉 | 46.2 | 18 |
| 6玉 | 20.0 | 18 |
| 7玉 | 4.6 | 18 |
| 8玉 | 1.5 | 14 |

4-6玉で80%越え